

平取町

輪島聖也

1. 平取町の概要

1. 1 地名の由来および歴史

地名の由来は、アイヌ語の「ピラウトル」（ガケの間にある所）の意。町の歴史としては、1899 年に門別ほか 17 村戸長役場から平取外 8 村戸長役場として独立し、その後 1919 年右左府村戸長役場(現在の日高町)を分離する。そして 1923 年に二級町村制を施行、村名を平取村とする。1954 年には町制を施行し、町名が平取町となり、1977 年には二風谷ダムが完成する。2003 年(平成 15 年)8 月 9 日台風 10 号の来襲により、10 戸が冠水の被害をうけてしまう。

図1 平取町の位置



出典：平取町商工会HP

図2 日高支庁管内図



出典：日高支庁HP

2. 地理・気候

2. 1 平取町の地理と気候

平取町は北海道日高地方の西端に位置し、総面積 743.16 km² で東西 52.8 km、南北 41.1

グラフ1 2007年度気象データ

降水量(mm)

気温

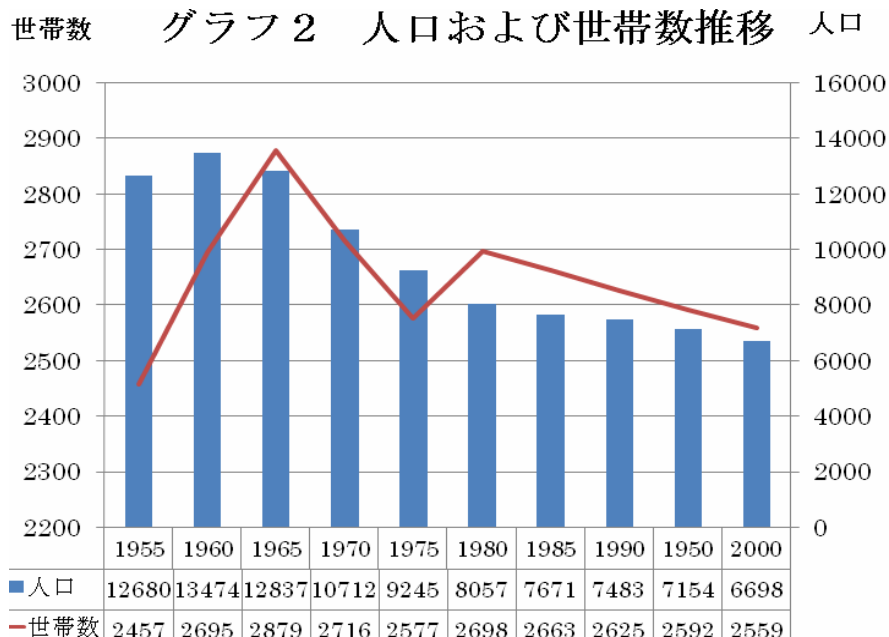
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量	30	60	100	80	180	140	60	300	70	110	150	40
平均気温	-6	-5	1	4	10	14	17	23	17	10	5	-2

2.2 平取町マップ

図3 平取町マップ



全体的に人口は減少してきているが、1970 年から 80 年にかけて最も減少の度合いが大きい。1980 年からは減少してはいるもののその度合いは緩やかになっている。人口が減少していている原因の一つとして若者が都市部へ流出していることがあげられるであろう。世帯数は 1965 年から 1975 年にかけて急に減少しているが、80 年に一度増えている。その後は人口と同じく緩やかに減少している。



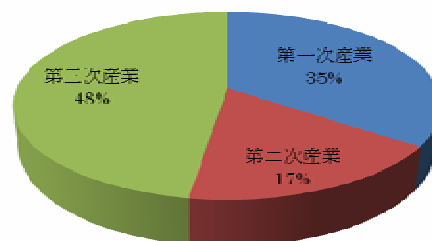
出典：日高支庁HP

4. 産業

4. 1産業別人口

平取町、を支える第一次産業の就業者は全就業者の3割を占め、その大半が農業従事者である。作付面積は水稲、牧草が大半を占めるが、近年では水稲にかわりトマト、きゅうり、軟白長ネギなどの割合も増加している。平取町におけるトマトの収穫量は、北海道全

グラフ 3 産業別就業者数



平取町役場HP

体の約20%を占めて全道一を誇り、全国的にみても市町村別順位で三位となり、平取町農業の中核を担う作物として、今後も規模拡大を目指している。林業は、平取町は面積の80%以上が森林であることから、これらの豊かな森林資源を活かした生産力の向上が図られている。平取町は民有林面積の占める割合が多い。平取町では肉用牛、豚、門別町では乳用牛の生産も多く、これらは地域の特産品にもなっている。沙流川はサケ・マスが遡上するほか、北海道の太平洋沿岸のみに分布する日本固有の魚であるシシャモが秋から冬の産卵期に遡上する。

4. 2農業

平取町には、特産品として「ニシパの恋人」というトマトがある。「ニシパの恋人」は、

図4 ニシパの恋人

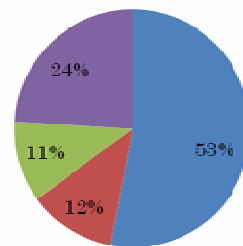
出荷量全道一を誇っている平取特産のトマトである。ニシパとは、アイヌ語で「長老」という意味である。「ニシパの恋人」という名前は、長老が健康な体を保つために真っ赤に熟れたトマトを毎日食べ、恋人のように愛したということから名付けられた。「ニシパの恋人」は、桃太郎という種類。平取町でトマト作りが本格化したのは約30年前だが、平成20年には栽培農家が165戸、作付面積も112ヘクタールに広がり、販売額は約31億4千万円で、町を代表する農産物に成長し、平成19年には第4回コープさっぽろ農業大賞も受賞している。出荷先の約7割が関東・関西方面などで、トマトジュースを初めとした加工品も好評である。また、平成17年には、新製品としてトマトアイスも開発し、「ニシパの恋人」の新しい仲間として加わり、販売を開始している。



出典：日本ねっ島HP

グラフ4 農業産出額の内訳

■野菜 ■肉用牛 ■その他畜産物 ■その他

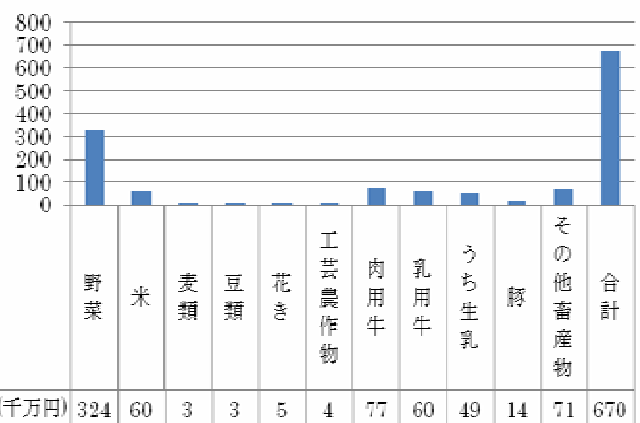


出典：農林水産省HP

平取町はトマトだけでなく、きゅうりや軟白長ネギなどの野菜の栽培も盛んである。平取町の農業産出額は広大な耕地面積を利用して栽培している野菜がそのほとんどを占めているが、肉用牛などの畜産物の産出額の存在も大きい。肉用牛としてびらとり和牛の生産もおこなわれていて、トマトに並ぶ人気を誇っている。ハムやソーセージの生産も盛んだ。野菜や肉用牛に隠れているが、乳用牛や米の産出額も大きいし、豚や生乳の産出額も重要である。これらは地域の特産品にもなっているし、とても大きな存在なのだ。平取町は広大な土地を利用したとても効率の良い農業をしているといえるだろう。

グラフ5 農業産出額

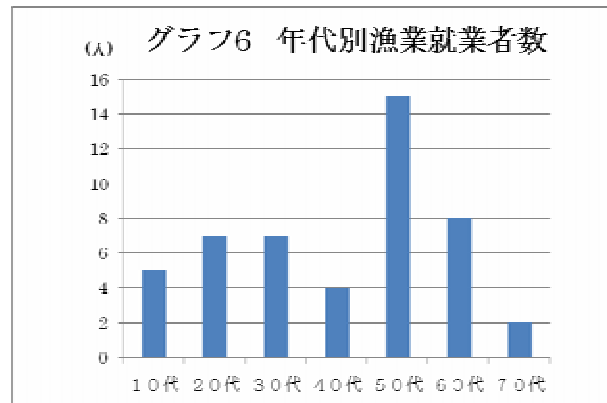
(千万円)



出典：農林水産省HP

4. 3 漁業

平取町は漁業も盛んな町で漁業世帯数は全部で 29 世帯。そのうち 18 世帯が個人漁業経営体で、全体の 62.1%を占めている。漁業就業者数は 48 人でそのうち男子が 44 人、女子が 4 人となっている。漁業就業者は 10 代から 70 代まで幅広い年齢層の人々が就業している。経営組織別経営体数は、全部で 23 経営体あり、個人経営体 18 経営体、会社経営体が 3 経営体、漁業協同組合が 1 経営体、共同経営が 1 経営体となっている。漁業関連施設は、魚市場が一所、冷凍・冷蔵工場が一所、営んだ水産加工場が一所存在している。漁獲量は年間を通して、さけ、ます類の魚とタコなどがそのほとんどを占めている。



出典：農林水産省HP

5. 観光

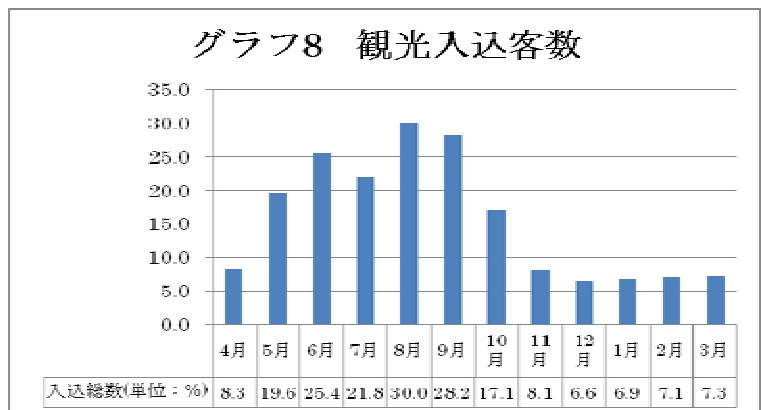
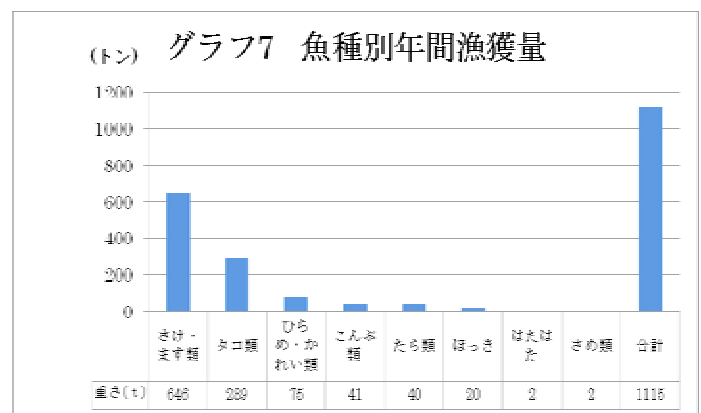
5. 1観光入込客数

観光客は5月から10月にかけては多いが、11月から4月の気温の低い期間は減少傾向にある。

5. 2 観光スポット

5. 2. 1芽生すずらん群生地

北海道の初夏を代表する花、すずらん。ここ平取町幌尻岳のふもとの芽生（めむ）の野性すずらん群生地は約 15ha と日本一の広さを誇っている。多くの人が足を踏み入れることによって絶滅の危機に瀕したすずらんを保護管理し 10 年の歳月をかけ自然の状態に回復させたのである。現在一般公開は毎年 5 月下旬～6 月中旬の約 1 ヶ月で、見頃は 6 月の「すずらん観賞会」の期間。白樺の木立に囲まれた観賞用道路から眺める白く可憐な花は町花となっている。



出典：北海道庁HP

図5 芽生すずらん公園



出典：平取町役場HP

5. 2. 2 二風谷ファミリーランド

野球場、テニスコート、ゲートボール場、パークゴルフ場、スケート場などのスポーツ施設や子どもたちに人気のバッテリーカーや冒険遊具のある広場、ゴーカートコースやオートキャンプ場なども整備されて、ますます充実する二風谷ファミリーランド。遊歩道沿いに歩くと野鳥の森やマカウシの滝など自然も存分に楽しめる。また公園内には温泉のほか、簡易宿泊施設「ふれあい館」もあるなど、泊まって楽しめる滞在型レジャーランドとなっている。

図6 二風谷ファミリーランド



出典：平取町役場HP

5. 2. 3 沙流川

長さ 104km、日高一の長流である沙流川は日高山脈を源とし、四季折々の風情を映してゆったりと流れる美しい川である。アイヌ伝説「カムイ・ユーカラ」のなかでも数々の伝説が語られており、暮らしを育んできた川への思いが伝わってくる。水量が豊富なことから、ダム開発をはじめとする有効活用計画も進んでいる平取町のシンボル沙流川。下流はアカハラ釣りなどのメッカとしても知られている魅力的な川である。

図7 沙流川



出典：平取町役場HP

5. 2. 4 幌尻岳

幌尻岳は、標高 2,053m。日高山脈襟裳国定公園の中で最も高い山であることから、アイヌ語で「大きい・山」を意味する「ホロ・シリ」として親しまれてきた山である。毎年夏には一面高山植物のお花畑となる山頂付近の「カール状」大地や豊富な動植物群、山頂からは、幾重にもなる日高山脈の山並みが一望できるなど、魅力あふれる山としてアルピニストたちにおおいに人気がある。

図8 幌尻岳



出典：平取町役場HP

参考HP

平取町役場HP： <http://www2.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/index.html>

JA 平取町HP： <http://www.nishipa.or.jp/index.htm>

国勢調査HP： <http://www.chireki.com/city/dist.php?code=01602>

平取町商工会HP： <http://www7.ocn.ne.jp/~biratori/>

日高支庁HP： <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/>

農林水産省HP： <http://www.maff.go.jp/>